

平成28年度 公立大学法人熊本県立大学 業務実績報告書 用語解説

	用語	解説
A～	CPDプログラム	Continuing Professional Development : 継続的専門職能開発プログラム
	FD	(Faculty Development ファカルティ ディベロップメント) 教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称である。 具体的な例としては、新任教員のための研修会の開催、教員相互の授業参観の実施、センター等の設置などを挙げることができる。
	GPA	(Grade Point Averageの略) アメリカの大学で広く採用され、最近では日本でも多くの大学で導入されている成績評価システム。 本学では、授業科目ごとの成績評価(試験の得点)をもとに、1単位当たりの平均を5点満点で算出している。
	ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報技術に関する基礎知識を測る国家試験。平成21年4月から実施されている。
	PROGテスト	汎用的技能を測定するための業者テスト
	SA	下記のTAと同様の制度で、教育補助を学士課程の学生に携わらせる場合は、TAと区別として、スチューデント・アシスタント(SA)と称する。
	SD	(Staff Development スタッフ ディベロップメント) 教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を指す。
	SPODフォーラム	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Educationの略) 四国地区の32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成。 質の高い教育を提供するため、4県に位置する「ネットワークコア校」を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)につとめている。
	TA	(Teaching Assistant ティーチング アシスタント) TAは、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生等を指す。
	TOEIC®	Test of English for International Communication : 英語によるコミュニケーション能力に関するテスト
あ	アドミッション・ポリシー	入学者受入れ方針
か	科研費 : 科学研究費補助金 (独立行政法人日本学術振興会)	科研費は、全国の大学や研究機関における研究活動への助成制度。人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的な学術研究(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とする。
	学術機関リポジトリ	教育・研究成果の発信手段として大学や研究機関等が作成・提供しているデータベースシステム

	用語	解説
	学生GP制度	地域企業・地域社会から募集した研究テーマを学生が卒業研究として行う本学の取組。この取組を教育体制に組み込むことで、学生の自律と自立に向けた就業力育成を図ることを目的としている。 GP：Good Practiceの略。「優れた取組」という意味で使われている。
	カリキュラム・ポリシー	教育課程編成・実施の方針
	官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～	「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画。 派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”へと育成される。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待される。
	キャップ制	履修科目登録単位数上限の設定。学生が、授業科目毎の学習時間を十分に確保し、充実した学修が展開できるよう、1年間あるいは1学期間に履修科目として登録できる単位数に上限を設定すること。
	キャリアデザイン教育	望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育（文部科学省HPより）
	教学IR	IRとは、「Institutional Research（（インスティテューショナル・リサーチ））」の略で、機関の計画策定、政策形成を支援するための情報を提供する目的で、高等教育機関の内部で行われるリサーチのこと。 教学IRは、大学の教育活動の改善を重視したIRのこと。学修成果の評価を通してカリキュラムや各種教育プログラムの質保証や改善支援が期待される。
	熊本県立大学未来基金	熊本県立大学が平成21年9月8日、さらなる教育研究環境の充実を図り、地域に貢献する有為な人材の育成及び優れた研究成果の創出に資することを目的に創設した基金
	クロスロードゲーム	クロスロードとは、阪神・淡路大震災で、災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成された、カードゲーム形式の防災教材。 クロスロードの問題カードには、「3000人いる避難所で、2000食を確保した。この食糧を配るか配らないか」など、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないような「ジレンマ」が多数ある。その人が「Yes」または「No」を選んだ理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができる。
さ	サバティカル制度	研修休暇とも呼ばれる長期休暇で欧米では広く普及している休暇制度。本学においては、出張によらない国内外における長期研修（職務専念義務免除）のこと。
	ジグソー形式	1つの長い文章を3つの部分に切って、それぞれを3人グループの1人ずつが受け持って勉強する。その後、それぞれが元のグループに集まって、互いに自分が勉強したところを紹介しあい、ジグソーパズルを解くように全体像を協力して解明する方法。
	シラバス	学生が履修科目を選択するときや、授業の予習・復習のときに利用するために作成する授業計画のこと。 本学では、授業科目毎に、概要、到達目標、履修上の注意、授業計画、使用教材、単位認定の方法、成績評価基準等について記載している。

	用語	解説
	スチューデント・アドバイザー制度	キャリアデザイン教育の充実を図るために、平成20年10月から導入したもの。就職活動や進路選択等に関する相談を、就職活動を経験した4年生が就職センターで行っている。卒業後の進路や就職活動について、自分の適性が分からない、どう行動すればよいか？など、不安や悩みを抱えている学生に対して、自身の学生生活や就職活動を踏まえて、4年生が相談にのってくれる制度。
	セメスター制	学期のこと。セメスター制は、通年制（一つの授業を1年間通しての実施）の前・後期などとは異なり、一つの授業を学期（セメスター）毎完結させる、1学年複数学期制の授業形態。
た	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	大学COC事業（Center of Communityの略）は、文部科学省が国内の大学を対象として、「地域社会との連携強化による地域の課題解決」や「地域振興策の立案・実施を視野に入れた取り組み」をバックアップする施策。2013年度より開始された。
	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）	COC+は、文部科学省が、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とした施策。2015年度から開始された。
な	認証評価	国公立すべての大学が文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）によって定期的に評価を受ける制度で、平成16年度から導入された。
は	包括協定	熊本県立大学と自治体・企業等が、地域における活動や調査・研究、人材育成、産業振興、地域づくり等様々な分野において相互に協力することを目的として締結する協定
	ファシリテート	会議、ミーティング等の場で、発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりし、合意形成や相互理解をサポートする。
	フューチャーセッション	意思決定や合意形成のための場ではなく、つねに問いを開き続けることで、参加者自身が目的を創り出し、主体的に実行することを促す創意形成の場です。いわゆる有識者会議とは異なり、一部の専門家ではなく、より広範なステークホルダー（現在・未来の当事者）が参加するところに特徴があります。
や	ユニバーサルデザイン	「すべての人のためのデザイン」のことであり、年齢、性別、国籍（言語）や障がいの有無等に関係なく、最初からだれもが利用できるような製品、建物や環境のデザインを意味する。また、情報、サービスやコミュニケーションを含む「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」といったより広い概念として使われる。